

通報

八月二十九日午後四時
杉柙樹房



一昨日午前三時総司令官ヨリ九ノ通報アリ

一、第一軍方面

第十三師團ハ今朝後車峯ヲ占領シ敵砲八門ヲ鹵獲シ目下攻
撃前進中ナリ第二師團ハハコウ西方高地ニ向テ前進中近
衛師團ハゴウホウジ附近ニテリレ敵ヲ北方ニ追撃シ同時ニイ
イコウ北オノ高地ニテル敵ヲ攻撃中ナリ以上八本日午後三時迄情
況ニシテ其後ノ情況ハ未ダ報告ニ接セズ

二、第四軍方面

軍ハ本日午前早ク豫定ノ地矣ヲ占領セシガ午後三時敵兵逐次陣
地ヲ撤シテ退却スルノ徴候ヲ確認セリ依テ軍ハ本官ノ訓令ニ基キ
直ニ追撃ニ移リ今夜ハゴ七連子ノ大石洞ノ線ニ前進セシガ未ク其
後ノ情況ニ接セズ軍ハ明日更ニハシカニ附近迄前進シテ第一軍ト直
接ニ連絡スル筈ナリ

三、第二軍方面

軍ハ本日午前八時前後微弱ナル敵ヲ駆逐シテ豫定ノ地矣ヲ占領シ
午後三時リ当面ノ敵兵陣地ヲ撤スルノ徴候ヲ認メ本官ノ訓令ニ基キ
直ニ追撃ニ移リタルニ其後ノ情況未ク審カテラス軍ハ本日鞍山
站トゴウホノ線ヲ占領シ明日ハ沙河附近迄前進スル筈ナリ

四本官ハ明日海域ニ滞在スルニシテゲニテ附近ニ在リレ敵ノ退却ハ其理由ヲ
知ルニ由ナシト云ヘ前日未当面兩軍ノ壓迫ヲ受ケタルト特ニ第一軍ノ

行進ハ其至ナル原因ナルヘシト思ハル敵ハ遼陽附近ニ於テ隊伍ヲ整理傾
ニ真面目ニ戦闘ヲ交テヤヤハ木明ナリト雖モ本官ハ敵ニ時日ノ猶豫
ヲ與ヘズ第一軍ノ状況ヲ窺田ニシタル後直チニ遼陽攻撃ノ準備ニ着
手セシトス

二日ニ分甘泉堡ヲ第一軍ヲ謀長ヨリ九ノ通報アリ

軍ハ当面ヲ敵ノ駈逐シテ今ニ十七日午後八時頃鞍山站附近ヲ占領セリ
明日午前六時出奔遼陽街道及其以西ノ地区ヨリ沙河線ニ前進セ
ニトス軍司令部ハ四ノ台ニ至ル

三午後四時總參謀長ヨリ九ノ通報アリ

第一軍ハ二十五日夜半ニ敵陣地ノ中央ニ向テ行テ九銃槍突撃ヲ以テ戰
闘ヲ開始シ昨ニ十七日夕ニ是ル激戦ノ後敵ノ第一線ヲ攻畧シ次テ後車嶺
ヨリ孫家寨南方高地ヲ經テゴウホツニ北方高地ニ直ル線ヲ占領セリ、
敵ハ狙撃ヲ第三、第六師團、線列第九第三土師團砲兵百門ニシテ其全

力ハ目下遼陽方面ニ遠却レシヨリ此戦闘ヲ控テ敵ノ戦術ヲ前ヨリ巧ニ
峻山上ニ構築シタル堅固ナル陣地ニ據リ最モ勇力敵ニ抵抗アリ
兩地ノ戰鬥ニ於テ我死傷將校以下約二千余、敵獲砲八門、彈藥及其
他多數、敵ノ死傷ハ未タ詳カラス

軍ハ本日雙廟子東方高地線ヨリ大石門嶺(望報台ノ東南約三公里)
ヲ經テハシヨウシザン附近ニ直ニ敵ヲ占領スル筈

第四軍ハ敵ニ追躡シテ自軍將軍台ノ大石門ノ向ニ於テ敵ト對戦中ナ
リ尚ホ軍ハ七連子方向ヨリ敵ヲ追進スル筈

昨夜十時三十分第三軍系隊長ヨリ友軍通報アリ

軍本日は八ヶ岳ヨリ附近ニ在ル敵ノ歩兵約一師團砲兵数中队ヲ攻撃シテ午前十時頃ヨリ八ヶ岳ヨリ附近ノ高地ヲ占領シ午後敵ヲ追撃シテ午後二時頃沙河ノ線ヲ占領ナリ当方面ノ敵ノ大部ハ遼陽方面ニ退却シ其一部ハ三ツザンホノ南方高地附近ニ停止セリ本日ノ戦聞ニ於テ敵ノ野砲八門輜重車数十輛ヲ鹵獲シ捕虜將校以下若干アリ我死傷將校以下約二百、敵ノ死傷ハ未タ審カズルニ第第六師團方面ニ道棄セル敵ノ死体ハ將校以下約百六十、軍司令部ハトロウカントニ在リ

二十七日附艦隊ヨリノ通報ニ由ルニ去十日ノ戦後上海ニ非之ミタルアスワド及駆逐艦一隻又ハ愈々武裝ヲ解クテ決定セルカ如シ
去二十三日、日軍及春日ガ龍王塘方面ヨリ我軍ニ声援ヲ與ルル為メガシテル勤作大要ヲ如シ

午前九時日軍及春日ノ二艦ハ新登田丸ヲ先頭トシ龍王塘附近ニ進出シ岬津嘴砲台ニ砲撃セリ先是共砲台ハ我陸軍ニ向テ砲撃シツマヤリレガ我砲撃ヲ回避スルヤ直ニ沈黙セリ

午前十時三十分頃敵艦ハストホル港ヨリ出テ掃海隊ヲ先頭トシ解
生角附近ニ来リ陸上ニ砲撃ヲ始メリ仍テ第二艦ハ正午ニ至リ雨ニ
進ミテ之ヲ砲撃セシニセバストホルハ倉皇港ヨリ退却セシトシ午後
零時三十分敵艦水雷ト置リ少シク我艦ニ傾テリ其附近ニ

ナリシ艦逐艦掃海艦等四隻
我艦ハ黄金山低絶台等ヨリ
砲撃ヲ受ケテ一損傷ナシ

岸軍系隊長 伊地知華介

0580

0257

通報 八月三十日午後四時
於柳樹房



一、昨夜第二軍參謀長ヨリ左ノ通報アリ

軍ハ明三十日拂曉金カヲ以テラシユカンホ「ランジヤツ」ニ線ニ向テ前進セントス

二、昨夜十三珊海軍砲ヲシテ旅順港内ノ器械局(倉間)我注意ヲ惹クノ恐アルヲ以テ

夜業ヲ為シツ「ア」ト「報」アリ(其他ノ製造場ニ向テ數十發ノ射撃ヲ為サレメ

タリ)

三、昨夜十時頃敵兵約百名我占領シタル盤龍山西砲台ニ向テ攻撃ヲ来リ大部

ハ西方及西北方ヨリ急射ヲ加ヘテ我注意ヲ惹キ一部ハ我背面ニ迂回シ他

ノ一部ハ咽喉部ニ肉迫シ其内六名ハ我堡壘内ニ突入シ来リ而シテ

此六名ハ悉ク戦死シ(内一名ハ水兵ナリト云フ)其他ノ敵ハ若干ノ死傷

者ヲ遺ニテ退却セリ我損害甚クナレ

四、本日午後一時大本營ヨリ左通報アリ

二十八日榴弾砲ハ来月一日横須賀ヲ出發スベシ其砲床建築ノ為メ
派遣セラレタル横田大尉ハ材料積込ノ為メ遅延シ明二十九日宇品
ヲ出發ス

第三軍參謀長 伊地知幸介

0259

五二

明治三十七年八月二十日 第三軍參謀長 伊地知奉

陸軍省副官 通牒

第三軍 參謀長 伊地知 印

左記之通 陸軍省副官 通牒

陸軍省 送達 滿發第三七二號

明治三十七年八月二十日

陸軍省副官 村山邦茂

第三軍參謀長 伊地知奉

令 敬 思召以

第三軍司令部

0260

三十一日

成變
監部、分配送付セシメテ候間此致御承知相
被下候、付方、以三角繻帶五百箇貴軍兵炸
威仁親王妃殿下御自製の繻帶に陸軍負傷者

筆
楊
板
用

0261

襲ニ臭水屯ニ於テ土民ノ初品ヲ横奪シ刑法觸ル
 ル特務曹長アリ今復本月十四日一夜土城子東方曹
 家化ノ民家ニ闖入シ男女子四名ヲ對シ刀劍ヲ蒙
 ルトシ去ルニ十八日ニ双島灣南方大口井ニ於テ土民金
 品ヲ横奪シタル兵卒アリ報ヲ得而シ是等横暴者
 ノ多クハ後方部隊ニ屬スルモノ知レ仰々帝典ヲ當
 軍ニ司令官トシ此地ニ臨ムヤ土民ニ告示ス
 皇軍ノ義ヲ説キ秋毫犯スコトナキ以テセリ是レ諸
 官ヲ已ムル知レ仰々各部隊長ニ亦平チカ意ヲ
 諭ス各々其部下ヲ監督シテ正ルニ守衛シ然レモ
 武官ノ威風凛々トシテ民衆ノ心ヲ安ムルハ
 軍人ノ本分ナリ



0262

聲此... 敵兵之同情... 我軍對之死心恨之懷... 直接... 部下... 絶無... 於... 獲...

右訓示ス

明治三十七年八月二十日

陸軍司令官 岡野 大佐

0263

三軍通乙第十三號

明治三十七年八月三十日

第三軍參謀長伊地知幸介



馬場海軍陸軍司令部

旅順方面ノ情况左ノ如シ

旅順内部ノ状況

(本月二十五日及二十六日旅順ヨリ避難ト来リタル清人ノ言ニ依ル)

一、本攻撃開始以來露軍ノ死傷夥シテ殊ニ東北方面各砲台ヨリ市街ニ運搬スル負傷者ハ昼夜給繹絶ヘズ太陽溝及白玉山東南ノ病院ハ充滿レ市街ノ東北部並ニ太陽溝附近ノ洋屋ハ多ク病院トシテ使用セリ残留セル清人ハ傷者運搬ニ使役セル

二、内部ニ於ケル我砲撃ノ結果、船渠内ノ建築物約二十棟ノ屋蓋ヲ突貫

0264

シ油房ヲ燒棄シ市街ノ東北部ニ在ル監獄附近ニ於テ二三ノ家屋ヲ又白
玉山東南側病院附近ニ於テ僅少ノ家屋ヲ破壞セリ其少數ハ港内ニ在
ル船舶ニ命中セリ特ニ白玉山附近ノ小火藥庫ヲ燒棄セシト云フト魚尾其
位置 月瞭ナラス

三、露軍ノ使用セル通訳(清人)ノ談ニ依レハ目下露軍ノ總數ハ一万千ニシテ
内八千ハ東北正面ニ三千ハ西南正面ニ配備セルト云フ

教場溝ノ東北谷地ニ第三十五第三十六兩聯隊アリ

尤宝房ノ北方谷地ニモ歩兵甚カラス

以上ノ敵兵ハ陰サ敵部ヲ構築シテ其内部ニ在リ

太陽溝附近ニ多クノ敵兵ヲ見ス

四、機器局ニテハ盛シニ空藥莖ニ裝藥シ又若干ノ彈丸ヲモ製造ス

0265

云フ、夫ハ午後七時ヨリ午前六時迄夜業ニ従事ス

五、婦女ハ黄金山北麓ノ蔭敵部或ハ市街家屋下ニ構造セシ地窖内ニ

陰匿スト云フ

一、説ニ依リハ婦女ハ已ニ老鉄山東方溪谷ニ移サレタリト云フ

老鉄山附近ノ状況(文家屯及王家屯附近ノ土人ノ言依ル)

一、老鉄山頂ヨリ白嵐子ニ通スル小径ノ存スル凹地内ニ約一ヶ月前ヨリ糧食

(太陽溝ヨリ)彈藥(旅順ヨリ)ヲ運搬ス太陽溝、白嵐子南方練瓦製造

所間ニ元來「ドコービル」アリ

二、曹家溝西南高地ヨリ對庄溝西方高地ニ直リ塹溝ヲ堀開シ曹家溝、西
南及東南高地ノ塹壕ハ掩蓋ヲ有ス但シ鉄糸網及地雷ハ未ダヲ布設

セズ

0266

三、曹家溝東南104ノ高地ニ小砲台ヲ作り内ニ野砲四門アリ

白嵐子西方高地ノ稜上ニ砲台ヲ構築シ野砲九門ヲ備ヘ對座溝東南
約一千米突ノ高地ニ砲台アリ

四、糧秣及彈藥ヲ貯藏スル凹地ニ步兵及水兵ヲ合シ約二千人幕營

ス

(了)

0267

通報 八月三十日午後時
於柳樹房



一、昨夜より今朝ニ亘リ當面ノ情况変化ナレ唯敵ハ望台及其西北方高地ニ工事

ヲ続行シ且ツ往日破壊セラレタル堡壘ノ修復ヲ勉メシムアリ

二、昨夜統參謀長ヨリ遼陽方面ノ戦況ニ関シ左ノ通報アリ

第一軍方面、第二師団一部及近衛師団昨ニ九日大石門峯「モウザン」

ノ線ヲ越ヘ「ヤユケ」東方高地ヨリ「モウカボウ」北方高地ニ亘ル線ニ向ヒ前

進シタルモ地形險難ナリト敵ノ抵抗頑強ナリトラステ昨日中ニ其目

的ヲ達セス今拂曉更ニ攻撃ヲ実行スル筈

第四軍方面、敵ハ「シンリット」ニ西方高地ヨリ「ソノハント」ニ南方高

地ニ亘ル線ヲ占領シ「アリ」第十師団ハ朝来「ソウバ」ニ南方高地ニ向ヒ

攻撃ヲ行ヒ「モ」目没ノ為メ其目的ヲ達セス第五師団ハ第十師団ト連

0268

繫シテ「ライカホ」西方高地及「コホウセウ」東方高地ヲ占領シ敵情

ヲ確メツアリ

第二軍方面、敵ハ首山堡西方高地ヨリ「シンリツト」高地ニ直線ヲ
占領シアリ軍ハ豫定ノ線ニ達シテ敵情ヲ確メツアリ

三、昨夜一時第二軍參謀長ヨリ左ノ通報アリ

軍ハ今朝ヨリ首山堡附近ノ敵ヲ攻撃セシモ敵ノ陣地甚ク堅固ニシテ其
抵抗頗ル頑強ナリシ為メ攻撃ヲ奏効ニ至ラズシテ日没トナレリ軍ハ尚ホ続
テ攻撃ヲ遂行セントス

四、本日午前十時總司令官ヨリ遼陽方面會戰ニ関シ左ノ通報アリ

敵ハ退却ヲ遂行スル能ハスシテ巴ムヲ得ス我々ニ應ジ昨日午後以
來遼陽南方ニ於テ彼我決戦中ナリ第四軍ハ優勢ニ敵ヲ攻撃

0269

ヲ退テ其位置ヲ保守シ第二軍ハ敵ノ右翼ニ向テ攻撃続行中第一軍
ノ首力ハ敵ノ退路ヲ遮断スニ為ノ昨夜ヲタイシコウガニニ移レリ

第三軍參謀長 伊地知幸介

0270

自今戰聞詳報ハ特ニ本件ニ注意シ調製相成クシ

一、先是又ハ既ニ等ノ文句ヲ用井ス凡テ時間ヲ以テ之ヲホレ順ヲ追テ記載スル

二、軍司令部ヨリ受ケル命令、通報其他直接関係ヲ有スル比隣部隊トノ通報及其連絡法等(傳令將校、同下士卒又ハ電誌等ヲ用井スル)ヲ明記シテ正確ニ記載スル

三、軍司令部向テ發送スル報告、通報並事情ノ変遷ニ忘レ高等指揮官ノ執リタル決心處置等ノ概要ヲ記載スル

四、戰聞經過中ニ各級指揮官ノ感得シタル事項及命令ノ確否又ハ比隣部隊協同動作ノ適否並之ヲ生シタル結果等

五、各部団ノ最モ苦戦シタル處ハ最モ詳細ニ其戦況ヲ記述シ尚ホ各人ノ勲蹟功業ヲ明ニスル為メ其人ノ書記スマレ後令ハ内村大隊ハ云々某少尉ハ奮進云々ト記スル如シ

六、戰鬥中軍司令部ハ報告アリシ事項ト戰鬥詳報中ニ記載シテハ事項ト往々其意味齟齬シ甚シキハ頗ル重要ナル事項ニシテ其記事ナキモノアリ(實例ハ多クアルモ茲ニ明ホ

セ六) 向後ハ此ノ如キ場合ニ於テハ詳細ニ說明ラセテ要ス

七、本文中ニ記載レタル事項ニシテ附屬中ニ之ヲ失レ或ハ兩者相合セザルモノアリ殊ニ甚シ

キハ某師団ノ最モ苦戦セシ場所ニ於テ一聯隊ノ兵力然モ能ク働キレ聯隊ヲ附屬中ニ記入セザリシモノアリ

八敵状ヲ勝大傲視スルハ忌ムヤク下ニモ正者ニ其兵カノ大小工事ノ業況ハ松枕ノ状態
歩砲兵等協力ノ有様等ヲ記述スルハ戦軍ノ復ヲ光輝スル爲メ必要ナリ

凡レテ軍事ハ明確正當ニシテ曖昧ノ各項ナキヲ要ス

十、從來各部團ヨリ軍司令部ニ送呈スル戦軍詳報中ニハ従々部下諸部隊ヨリ

進達シタルモノヲ充分咀嚼(戦軍ノ経過中高等ヨリ司令部カ親シク見聞シタル

処並ニ部下ヨリ送呈シタル報告通報等ニ対照シテ)セシテ軍ニ之ヲ綜合編纂シ

タルモノナルヲ感テ懐カシムルモノアリ

之ヲ要スルニ戦陣詳報ハ後來戦史編纂ノ有力ナル資料トナルベキ

モノナルヲ以テ十分精細明確ニ之ヲ記述シ後人ヲシテ毫モ疑ヲ擲

ムニ餘地ナキカ如ク調製スルヲ要ス兵馬倥偬間於テ此ノ如キ要求

ヲナス聊カ難キヲ求ムルニ感テ非スト金氏和家百年ノ長計上

ヨリ算討スル中ハ決シテ適當ニ非ザルナリ

明治三十七年八月三十日 陸軍参謀長 伊地知幸介

通報
八月一日午後四時
於柳樹房



0273

一、昨日午後三時第二軍參謀長ヨリ左ノ通報アリ

軍ハ今三十日未明ヨリ攻撃ヲ再興セシモ敵ハ依然頑強ニ抵抗シ未ダ陣地ヲ奪

取スルニ至ラス唯今正午更ニ猛烈ニ攻撃ヲ決行シツキアリ

二、統司令部ハ本日出発トウツウニ明日沙河ニ移轉スル旨通報アリ

三、昨夜十時半第二軍參謀長ヨリ左ノ通報アリ

軍ハ今三十日全カヲ舉ラ終日攻撃ヲ力行セシモ未ダ敵陣ヲ奪取スルニ至ラス日

没後更ニ強襲ヲ断行スルニ決セリ第五師団ノ一部モ之ニ協力スル筈

軍ノ死傷ハ未ダ詳カナラハルモ多クナリ

四、昨夜統參謀長ヨリ遼陽方面大會戰ニ関シ左ノ通報アリ

八月二十九日夜ヨリ三十日夕刻迄ノ情况

一、第一軍方面、軍ノ左翼隊ハ昨二十九日モウカボウ高地附近ノ高地線ヲ

未だ占領スルニ至ラス依テ三十日拂曉ヨリ近衛及第二師団ノ一部ハ更ニ攻撃
シ繼續セシモ未ダ其目的ヲ達セサル而ビテラス近衛師団ニ対スル敵ハ午后
一時頃ヨリ益々其兵力ヲ増加シ午後三時ニ至ルモ目的ノ地点ヲ奪取スル能
ハズ軍ハ本夜第三師団ヲ先頭トシ第二師団ノ主力之ニ次ギレントウワン
附近ニ於テタイシン川ヲ渡リコウフン方向ニ進出スルノ予定ナリ又後備
混成旅団ヲシテ三十一日本溪湖附近ノ敵ヲ攻撃セシムル事ナリ
ニ第四軍方面、軍ハ拂曉ヨリ予定ノ如ク攻撃ニ着手シ第十師団ハソウヘ
ントン南方高地ノ敵ニ向ヒ午前六時頃ヨリ攻撃ヲ開始シ最初ハ攻撃
大ニ進捗セシガ午前十時ヨリ敵ノ大縦隊遼陽方向ヨリ全師団ニ向ヒ恢
復攻撃ヲ行ヒ午後三時テ敵ハ益々其兵力ヲ増加シテ少クモ二師団以上
トナリ其砲数五六十門ニ達セリ然ルニモウカボウ北方高地ヲ攻撃中ナル
近衛師団ノ左翼淺田旅団トハ未ダ協同スルヲ得ス其ノ右翼ハ一時危殆ニ

0274

陥リシカ勇奮戦闘、後、午後三時頃、浅田旅団ト連繫スルヲ得テ、
稍々良好トナリシモ、午後五時ニ至ルモ、交戦酣ナリ、第五師団ハ今朝来
「ホウカトン」東方高地ヨリ、「シンリットン」西方高地ニ亘ル敵ニ向ヒ（ガワ）
ヨリ、其西方高地ニ亘ル間ニ展開シ、第三師団ト連繫シテ攻撃セシケリ
此方面ノ敵ハ堅固ナル陣地ニ據リ、頗ル頑強ニ抵抗シ、師団ハ第三師
団ノ砲兵ト協力シテ攻撃ヲ準備ヨテ、レックアルモ、午後五時頃ニハ未タ敵
ノ陣地ニ突入スルニ至ラス

三、第二軍方面、軍ハ昨来目的トスル敵ノ陣地ヲ攻撃スル為メ、今拂曉ヨリ
運動ヲ起シ、午前十時頃ニ第三師団ハ「シヤオヤンズイ」北端ヨリ、今村
東北高地ニ亘ル線ヲ占領シ、「シンリットン」西方高地ノ敵ニ向ヒ、又第六師団
ハ「マエトウン」ヨリ大趙家台ニ亘ル線ヲ占領シ、「シウザンポ」西方高地ニ
向ヒ、夫ニ攻撃スルヲ着キ、敵ノ兵力ハ詳カラズト雖モ、漸次増加シテ最

後ハ其砲数ハ首山堡西方高地以東ニ於テ約百門ニ達スベシ且ツ此方面、敵陣地ハ堅固ニ構成セラルシ其副所禦ルハ容易ニ我歩兵ノ近接ヲ許カス從テ我攻撃手ハ午後三時頃ニ至ルモ進捗モス午後三時頃第三師団ハ后備歩兵一聯隊、徒歩砲兵一大隊ノ増加ヲ得タモ其ノ目的ヲ達セス第六師団方面、其ノ右翼ヲ「ジウツヤス」西北部落ニ托シ盛ニ機関砲ヲ以テ射撃セシ第六師団ハ全カヲ萃テ之ヲ攻撃セシモ進捗ノ景況ナキヲ以テ軍司令官ハ午後四時頃、軍ハ左翼後ニ在リシ第四師団ノ約半部ヲ其ノ左翼ニ増加セリ秋山旅団ノ野砲兵ハ午後三時頃「オニトン」附近ニ達シ敵ノ背後ヲ射撃セリ右ノ如キ情況ニ在リテ午後七時過ニ到ルモ尚ホ攻撃手繼續中ナリ

四其他一般ノ情況左ノ如シ

昨三十日夜ハ第六師団ヲ為テ退却セラルル敵ノ夜襲ニ繼グニ首

0276

山堡南方高地ニ向テセシ第三師団ノ夜襲ヲ以テシ彼我激烈ノ戦ヲ

交ヘツアルモ今(正午)ニ至ルニ戦機ノ發展ヲ見ス近衛師団及第四

師団ハ頗ル優勢ノ敵ニ対シテ奮闘其ノ地ヲ保守シ第一軍ノ大部

ハ今朝九時頃已ニ太子河ノ右岸カトシ附近開進ヲ試ミタリ

五、本朝第二軍參謀長ヨリ左ノ通報アリ

勇猛果敢ナル突撃ニ依リ今日午前二時頃第三師団ハ「ミンリウトン」

西方高地ヲ第六師団ハ首山堡西方標高99ノ高地ヲ全ク占領セリ

軍ノ死傷ハ未詳ナルモ頗ル多クナリ

六、昨日ヨリ今朝直ル敵ノ狙撃及砲撃ノ為メ(敵ハ昨夜十時半頃ヨリ三時頃ニ

至ル迄三龍山及東鷄冠山砲台等ヨリ我盤龍山東西南砲台ニ向ヒ數十発ノ

射撃ヲ為セリ)第九師団ハ八十余名ノ死傷ヲ生ゼシモ其大部ハ

軽傷ナリ

0277

第三軍參謀長 伊地知幸介

0278

通報 九月二十日午前十時
於柳樹旁



昨夜十時三十分總參謀長より遼陽方面大會戰ニ関シテ通報アリ
敵ハ我猛烈果敢ナル攻撃ニ堪ヘズ本朝来遼陽方向ニ退却シ第
二軍ノ第四師團及ヒ秋山支隊並ニ第四軍ハ猛烈ニ之ヲ追撃中
敵ハ太子河右岸ニ撤退セリトシテ遼陽附近ニ大ナル混乱ヲ起シ
ソノ我戦利砲十冊半加農ハ遼陽停車場ヲ盛ニ砲撃シテ
アリ、第一軍ハ午前十一時「コクハイグイ」ノ敵ヲ攻撃中、第二軍
ノ主力ハ明朝更ニ敵ヲ太子河ニ壓碎セントス
二十九日来ノ我軍ノ損害ハ一萬内外ナラン
二同四十分第二軍參謀長より同件ニ関シテ左ノ通報アリ
敗退シタル敵ノ大集團ハ遼陽停車場附近ニ大混乱ヲ極メ居

0280

レリ我第四師団又十研知加農(戦利火砲)ハ之ニ對シ日没
マテ追撃射撃ヲナセリ
軍ハ明日先ツカイシエノ線ニ前進セントス

第三軍參謀長 伊地知 幸介

0281

通報 九月三日午後三時 於柳樹房

一昨夜十時總參謀長ヨリ遼陽方面ノ大會戰ニ関シテ左ノ通報アリ

其一 第四第三軍ノ前面敵ハ太子河右岸ニ退却ヲ続行シ其一部(約師団半)ハ遼陽ノ

南方ヨリ西方ニ直リ設陣及木廠(太子河右岸)ノ東北方高地ヲ占領シテ抵抗ヲ繼續

ス我第四第三軍ハ敵ヲ追撃シテコソラブツクヨリ西八里庄ヲ經テコソウカリンシニ直ル

線ニ到達シ攻撃ヲ続行中ニシテ明朝迄ハ太子河右岸ニ進出スルカ得ルコトヲ

其二 第一軍ノ主力ハコソクエイ台西北標高一三ノ高地ニ在ル敵ヲ攻撃シ今朝該高地ノ部

ヲ占領シタルモ其後ノ戰況ハ進捗セリルモノ、如シ而シテ軍ノ右翼兵タル烟台石炭坑

方面ニ敵兵漸次集合シテアルカ如シ

三 昨日附ヲ以テ聯合艦隊司令長官ヨリ十三冊海軍速射砲四門及之ニ附属スル人員ヲ黑

井陸戰連砲隊ニ増加スル旨通報アリ

四 今朝十時第三軍參謀長ヨリ左ノ通報アリ(昨夜十時發)

軍ハ本日敵ヲ追撃中復シ敵ノ抵抗ヲ受ク其陣地ハ遼陽西北方約一里ヨリ遼陽南

端附近ニ在リ頗ル堅固ナリ當面ノ敵ノ兵力ハ少クモ步兵一師團砲兵七八中隊ナルカ如シ

軍ハ直ニ之ヲ攻撃セシモ敵ノ頑強ナル抵抗ニ依リ戰鬪持久セラ日没トナリ依テ現在ノ

姿勢ニ在リテ夜ヲ徹シ明日拂曉攻撃ヲ続行セントス

五 第九師團長ノ報告ニ依リ龍眼北方高地及龍山東南砲台ニ向テスル同師團ノ対象

作業ハ好況ヲ以テ着々進捗シツ、アリ

五第師團ハ昨日午後六時三十分頃及同夜十時頃旅順市街殊ニ兵營ニ向テ威嚇砲撃ヲ為

セシカ摸珠嶽、白玉山、紫子岬及松樹山等ノ諸砲台ヨリ數十發ノ砲撃ヲ為セリ

大昨日海軍陸戰重砲隊ハ松樹山ニ在ル敵ノ十五冊加農ヲ破壊スル為ノ連続猛烈ナル射

撃ヲ為シ(約四百發ヲ射セリ)一門ヲ破壊損シルカ如シテ昨夜ハ市街ニ

向テ例ノ威嚇射撃ヲ行ヘリ

第三軍參謀長 伊地知 幸介

0283

通報
九月四日正午
於柳樹房

一昨夜時細谷艦隊司令官ヨリ左通報アリ

旅順ヲ出テタル印度人ヲ糾問シタル結果左情報ヲ得タリ

「クロバトキン」大將ノ密使去月三日旅順ニ着キ同人之言ニ由テ我砲彈ハ旧市街

ニ落テタルカ故ニ露人ノ多クハ新市街ニ移リ居リト

二第九師団ヨリノ報告ニ依テ昨日盤龍山西砲台ニ三百余發ノ敵砲彈ヲ濞リシモ

我守兵ニ四五名ノ死傷者アリシノミ併シ龍眼北方ノ敵壘ヨリスル小口至砲

ノ背射ハ我守兵ヲ悩スル甚シ

又同師団ノ対壕作業殊ニ龍眼北方保護區ニ向テスルモノ至テ好況ニシテ昨夜ハ約百米

進捗セリ

三第九師団ヨリノ報告ニ依テ盤龍山ノ向ニ敵砲ハ太陽溝西北西砲台ヨリト



0284

四、遼陽方面、戦況、關、第軍參謀長より左、通報あり

一、三月午後十時、ハウシマズイ、第百日前一時着

軍ハ本日攻撃ヲ続行セシモ、敵ノ抵抗頑強ニテ遂ニ日没ニ至リ然レモ尚ホ攻撃

ヲ続行セントス

二、四日前午五時、第百日前一時着

軍ハ四日前一時前後ニ於テ遼陽附近ノ敵壘ヲ確實ニ占領セリ

三、四日前六時、第百日前八時十五分着

軍ハ四日前零時三十分頃より右翼師団より逐次敵壘ヲ奪取セリ今朝

敵ヲ追駈キシ為ニ得レハ一部ヲ大子河右岸ニ進出セントス

第三軍參謀長伊地知幸介

0285

三浦報

九月四日午後六時
於國軍山東南高地

其粉未相彈砲据付ノ為メ取遣キレシムル據田砲臺大付一ノ行ハ本ヨリ
地着セリ

文
成
也
矣

0286

通 報 九月五日午後一時
於 柳 樹 房



一 細谷艦隊ト協議、上乾糧火藥五千壹萬、濕糧火藥二千五百、四十七密速射砲十門、

同彈藥一門付キ約千餘ヲ今明月中、海軍ヨリ受領シ當軍ニ於テ使用スル筈、

二 第九師團ノ龍眼北方ノ堡壘ニ對シ北方ヨリスル抗路ノ外北部八里庄方向ヨリ敵ノ交

通路ニ迫ルノ目的ヲ以テ更ニ抗路ヲ穿開セントス而シテ此方面ニ於ケル敵ノ工事ハ益

々堅固トナリツ、アルカ如シ(敵モ毎夜作業ヲ實行シツ、アリト云フ)

三 盤龍東西砲台ノ我防備ハ逐日堅固トナリ龍眼北方高地ヨリスル背射(甲七密速射砲)

ニ對シテハ北有塙ヲ設ケルニ至リ而シテ同地守兵ハ今ヤ戰闘ニ馴レ砲彈ノ慘害ヲ意ト

マス虚心平氣其職令ヲ尽シツ、アリ

四 昨日參謀次長ヨリ「ホナキス」機關砲軍門(前軍ヲ除ク)彈藥一門ニ付一萬五千

發ヲ本月一日東京ヨリ發送セシ事通報アリ

上、昨日遼陽方面戦況ニ関シ総司令官ヨリ左ノ通報アリ

第一軍ハ二十三日ヨリ運動ヲ起シ、頗強ナル敵ヲ遼陽方面ニ壓迫シ、二十三日石咀子、响山子ノ線ニ達シ、近衛師団及第二師団ノ一部ヲ該方面ニ残置シテ、第四軍ト連絡セシメ、主カク挙ケテ二十日ヨリ二十一日ニ直リ太子河右岸ニ移ル

第四軍ハ二十七日ヨリ鞍山站附近ニ在リ、敵ヲ追撃シ、二十九日ウイジャゴウ、沙河及キョカグイノ線ニ達セリ、敵ハヤユナシ、北方高地ヨリ早飯屯南方高地ヲ経テ首山堡西方高地ニ直リ、堅固ニ防衛シ、陣地ヲ占領シ在リ、第一軍及近衛師団ハ三十日早朝ヨリ攻撃ヲ開始セシメ、敵ハ遼陽方面ヨリ陸大ニ増援ヲ得、終日劇戦遂ニ切ヲ巻ケル、此夜敵兵各方面ニ夜襲ヲ企テ、悉ク撃退セラレタリ

三日敵ハ依然、頗強ニ抵抗シ、殊ニ首山堡附近ノ陣地ハ、甚ニ重要、頗ル堅固ニシテ、我優勢ノ砲火ニ対シテ屈セス、我步兵ハ屢ニ突撃ヲ試シ、然レモ、終ニ至リ漸ク敵ヲ

退スルヲ得タリ

一日早朝第四第二軍ハ追撃ニ轉シタルモ敵ハ再々遼陽城邊ニ構築セシテ防禦線ニ
停止シ頑強ニ抵抗ス兩軍ハ全カヲ尽シテ連日攻撃ヲ続行シ三日夜半ヨリ四日朝ニ

至リ全ク敵ヲ撃退スルヲ察陽ヲ占領セリ

第一軍ノ主力ハ一日ヨリ黒英台西方附近ノ高地在ル敵ヲ攻撃セルモ敵ノ抵抗頑

強ニシテ續々増援ヲ得ル如ク三日ニ至ルモ尚攻勢ヲ続行ス

六今朝^早第二軍參謀長ヨリ左ノ通報アリ

其後第四師團ヨリノ報告依テ太子河鐵道橋ハ未ダ占領セシス同橋梁ハ目下敵

ノ為メ克夷セラレツ、アリ對岸ニハ若干ノ徒歩兵アリ全部燒夷セラレハ修理ニ約

二週間ヲ要スルナラン

軍ハ本日第六師團ヲ以テコヤンパンツヤ附近ヲ第四師團ヲシテ鐵道橋ヨリ下流太

子河ノ左岸ヲ占領セシメ其他ハ第三線ニ集合ス午後七時頃太子河右岸ノ敵ハ時々
我ヲ砲撃セリ其爆聲ヨリ察スルニ重砲タルカ如シ

昨日第一師団ヨリ旅順要塞防禦ニ関スル「ステツセル」中將ノ訓示(標高174高地ニ

於テ押収シクルモノニ「八月十日附ナリ」ヲ邦文ニ訳シテ報告セリ其内我注意ヲ

喚起スベキ者少カラサルヲ以テ茲ニ其全文ヲ摘出シテ參考ニ供ス

本官ハ親シク前方ノ陣地ヲ點檢セリ總テノ塹壕ハ敵ノ為メ近接シ難キ山頂ニ掘開

セラル敵ハ是等ノ壕ニ突入スルヲ頗ル困難ナルヲ見セリ

各塹壕ニ掩蓋ヲ設ケテ榴霰彈破片ヨリ我射手ヲ掩護シワケアリ故ニ我射手

ノ為メ最も重要ナル事項ハ沈着ナル態度ヲ以テ山上ニ突進セシトスル敵ヲ擊破スルニアリ

本官ノ希望スル所ハ敵軍露出シテ我山上ニ突進セシトスル際我軍ハ沈着以テ敵ノ

山頂ヲ去ル百歩乃至二百歩ノ距離ニ達スルヲ俟テ攻撃ヲ轉スバシ此場合ニ敵ハ疲

0291

勞極突撃ヲ出ルノ性能ヲ失ヒ各銃キ退度ヲ失フニ至ルラン

前方ノ敵ハ最モ果敢勇猛ニシテ後方ノ敵ハ怯懦羸弱トシ事兵ノ通則トス

我兵ハ堅固ニ構築セラレタル塹壕ニ在リテ敵ノ山坡ニ疲勞スルヲ俟ツマシ敵兵銃

眼ヲ距ル百歩ノ距離ニ現ハレタルトキハ先ツ汝ニ最モ近接シタル者ヲ射撃スレズ其

一部ヲ以テ守校及指揮官ヲ狙撃セヨ

前方ノ敵詳言セハ最モ果敢勇猛ナル部隊歟ルハ中ハ背後ノ部隊ハ動揺シテ射撃

スルカ若シハ敗走ス此場合ニハ余カヲ尽シテ彼等ヲ射撃スルマシ

総テノ高地ハ^互之ヲ射撃スルヲ得故ニ若シ敵軍近隣ノ高地ニ攀手登セントスルハ

汝等ハ其金山坡ヲ射撃スルマシ若シ敵軍己トシ對シ突撃シ来ルハ近隣ノ高地ハ

遠距離ヨリ霰射シテ汝等ヲ防禦セン故ニ汝等ハ意ヲ安ンジ敵ヲレラ山頂ヲ去

ル百歩ノ地莫追討引レ彼等ノ疲ルヲ俟テ攻撃スルマシ事茲ニ至ル如何ニ敵兵

ト至ル到迄汝ニ近接スル能ハム其他敵ノ迂回運動ニ對シテハ豫備隊及側面部隊
又構築セラルル首障ヲ榴散彈ノ破片ヲ以テ等ヲ掩護スル餘リアリ汝等ハ膝射スルモ
伏射スルトキモ等シク敵ノ多大ノ損害ヲ蒙ラシムヤシ各部隊長者ハ特ニ前方部隊中ニア
ルハシ故ニ各前方部隊ニモ自己ノ部隊ヲ指揮シ得ル如キ首障ヲ設クベシ蓋シ此事ハ山地戰
ニ於テ特ニ重大ノ場所ニ價值ヲ有スルモノトス
山上ニ在ル各部隊ハ互ニ作業法ヲ指示シ協力シテ敵ヲ攻撃スル手段ヲ講スベシ蓋シ此場合
ニ大ニ注意シテ此等ヲモ忽ヒセス又銃聲及彈藥ヲモ調金ガルベカラズ
砲兵將校ハ射擊間砲手及戰馬ヲ掩護スルニ努力カスベシ
以テ如キ狀態ニアリテヨリ詳言セハ各官能ノ自己ノ任務ヲ恪守シテ後始メテ能ク自己ノ障
地ヲ保守シ且ツ優勢ヲ敵ヲ擊破シ得ベシ
本官將校及下士卒カ能ク本官意ヲ体シ各官能ノ任務ヲ尽サレコトヲ信シテ疑ハス

関東要塞司令官 スチツセル中將

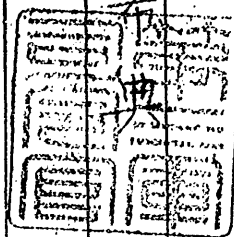
第三軍參謀長伊地知幸平

0293

三軍副第 五七八號

明治三十七年九月廿日 第三軍司令官 男爵乃木 兼

海軍少佐 佐野 俊之助 殿



今般

大元帥陛下ヨリ宮本侍從武官

白皇后陛下ヨリ桂侍醫

皇太子殿下ヨリ尾藤東宮武官ヲ特ニ當陣ニ差遣スル其ノ

思召別紙ノ通ニ付此旨部下一般ニ無漏傳達スルレ

逐テ御下賜ノ酒肴ヲ拜受ニ関スル時日場所等ハ軍經理部長

ヲレテ之ヲ通知セシム

第三軍司令部

0294

大元帥陛下、皇后陛下、皇太子殿下

思召ノ覺見書

先般未當方面ノ前進防禦線ヲ逐次攻略シテ敵ヲ本防禦線
内ニ壓迫シ炎熱ノ候ヲ冒シ勇猛無双ノ本攻撃ヲ實施シ今
ヤ司令官以下將校下士卒等尚日夜奮戰ノ段苦勞被 思召
現下ニ於ケル一般ノ状況ヲ視察シ且傷病者ヲモ慰問シ飯朝ノ
上詳細ニ之ヲ復奏スヘトノ 聖旨ヲ奉シテ參營ス尚司令
官以下一般聊陣中ノ勞ヲ稿フ爲ニ左ノ酒肴ヲ賜ハル

一 清酒 五百樽

一 海苔 貳万帖

皇后陛下ニモ 大元帥陛下ト御同様ニ先般来炎熱ノ砌リ
長々困苦歎乏ニ堪ヘ容易ナラヌ苦戦ヲ繼續シタル餒深ク苦勞
ニ 思召サレ且傷病者ニ就テハ殊更 御心ニ懸ケサセラレ特
ニ侍醫ヲ遣ハシ親シク創傷ノ摸様ヲ視察セシメラル尚治療
ヲ加ヘテ一日モ早ク全快セシユトヲ望マセラレ
皇太子殿下ニモ 西陛下ト同一ノ 思召ヲ以テ東宮武
官ヲ差遣サル

0296

通報

九月六日午後四時
於柳樹原



一、野戦砲兵第三旅團ヨリノ報告ニ依ルニ敵ハ東北面諸堡塁ノ破壊セシタル部
介ヲ修理スル為ノ望台亞麓瓦通路及其右方通路ヨリ木材ヲ運搬シツテ
ルガ如シ

二、龍眼北方南面堡ノ交通路ニ迫ルルキ目的ヲ以テ第九師團ニ在テ八里庄
（北部）附近ヨリ穿洞シツテアル工事ハ今や因上庄ノ字附近ニ才ヲ敵兵
壕ヲ築設セントスル域ニ至レリ

我盤竜山西砲台ニ向ヒ尤モ危言ヲ興フル敵ノ軍中モ密機同砲ハ龍眼
北方南面堡ノ南約百五十米ノ如シ一門ニ竜山砲台北端附近三門アルガ
如シ

三、第一師去ヨリノ報告ニ依ルニ昨日午後四時三十分頃敵ハ望台南方約八百
米突リ高地（標高150附近）ニ敵後軍前線ノ方面ヨリ一門ニ付テ百人許
ノ人負テ使用シ砲車ヲ曳上ケツテヤリキント

四、河方面大会戦ノ顛末ニ関シ今朝總司令官ヨリ尤ノ通報アリ

第一、第二、第四軍ハ八月十四十六十七日奉令ニ基キ鞍山北湯河沿河
沿ノ攻撃運動ヲ開始セリ

第一軍ハ八月二十四日ヨリ運動ヲ開始シ辛丑日ヨリ二十日ニ直ル劇戦ノ後

敵ヲ擊退シテコトヲサレシメテ高峯寺ニ直ル線ヲ台領セリ其後分
 二千八百附遠路一攻撃準備ニ當スル存心ニ基キ尚ホ追撃ヲ行ハレシ
 九日英字堡石咀子响山子ノ線ニ達シ二十日夜ヨリ三十日直リ軍ハ其主力ヲ
 録刀湾ニ移テ大子河右岸ニ移シ其一部(近來師去及才三師團一部)ヲ大
 子河右岸ニ殘置シテ才四軍ト連繫シテ勤作セシメタリ軍ノ主力ハ九月
 一日ヨリ星英台西方附近ニ在ル敵ニ向テ攻撃ヲ開始セシガ敵ノ抵抗頑強
 ニシテ且漸次其兵力ヲ增加セシメテ攻撃ヲ容易ニ進捗セズ然レモ九月四日
 ニ直ル劇戦ノ後九月四日正午過遠ニ敵ノ陣地ヲ奪取セリ
 本溪湖方面ニ派遣セラレタル梅澤旅團ハ八月三十日日本溪湖ヲ台領シ
 敵ヲ追撃シテ九月三日平台子附近ニ移テ敵ノ混成約一旅團ヲ擊破シ
 四日三家子附近ニ進セリ
 九月四日大子河右岸ニ在リシ軍ノ一部ノ内ヨリ近來ノ旅團ヲ大子河右岸
 才三師團ニハ江官屯ニ移シタリ
 才四軍ハ二十六日ヨリ運動ヲ開始シテ敵ヲ庄台ニテ二十日下石橋子候家
 屯ニ移馬台ノ線ニ達ス然レモ北日下房身鞍山站ノ防衛津地ニ據ル
 敵大ナル敵ハ遠路方面ニ退却ヲ始メタリ其後八月十八日ニ在ケル命令ニ基
 キ才四軍ハ直ニ追撃ヲ輕シ敵ノ一部隊ヲ擊退シテ二十九日才四軍ハ
 潘家坎沙河ノ線ニ進ス敵ハ才四軍ハ沙河ノ線ニ進ス敵ハ才四軍ハ

地ヨリ早敵也南方高地、新立也東西ノ西高地ヲ至テ首山堡西方高地
 直リ堅固ニ陣地ヲ構成シヤリ故ニオ四軍ハ二十八日一命ヲ実行スルニ為
 ナニ八更ニ戦キテ豫期セザルヘカラザルニ至レリ本官ハ此状況ニ於テオ
 ニ軍ニ命シ首山堡附近ノ敵ヲ攻取ルニオ四軍ノ戦況ニ慮ヒシ得ルニ
 クスル任務ヲ與ヘタリ三十日オ四軍ノ右翼ヲオ十師志ハ此素師志
 ト共ニオ五ヶ山北方高地ヨリ早敵也南方高地ニ直リ占領セリ敵ニ對
 シテ攻取ルヲ開始セシモ敵ハ隙一ノ一別命ニ候ク

0299

陽方向より大ナル増援ヲ得テオ四軍ハオ四師至ノ部ヲ中央後ニ置致ス
 ルニ至リオ四軍ノ右翼ハ其畧取シタル位置ヲ支持スルノ旨ヲ得サルニ
 陥リタリ此戦況ニ於テ本官ハオ三軍ニ命ジテ意ヲ連シ首山堡附近ノ敵ヲ撃
 兵既隊ヲオ四軍ニ増加シ又オ三軍ニ命ジテ意ヲ連シ首山堡附近ノ敵ヲ撃
 破スルノ任務ヲ命ジタリ同日オ四軍ノ右翼オ五師至及オ二軍モ亦新立化
 及首山堡附近ノ敵ニ対シテ攻撃ヲ開始セシメ敵ハ頑強ニ抵抗シ屢々逆
 襲ヲ試シ攻撃甚々困難ナリ
 然レモ西方面ノ敵ハ我軍ノ連日連夜勇猛不屈ナル攻撃ニ堪ヘズ二十日夜半
 至リ遂ニ我軍ノ撃退スル所ナリ遠所方面ニ退却シ西軍ハ直ニ追
 撃ニ移リタルモ夜ハ團員連隊隊城ノ南端及西端ヲ圍繞セル堅固ノ堡壘
 線及木廠東北方高地ニ依リ復強ニ抵抗シ我軍ハ九月日ヨリ三日ノ夜ニ
 至ル迄遠所ニ対スル攻撃ヲ繼續シ以テ遂ニ敵ノ堡壘線ヲ奪取シ四日
 朝全ク遠所ヲ巨鎮ナリ
 敵ハ三十日ニ至ラデ我軍ニ増加兵ヲ遠所ニ輸送シタル徵候ナリ而シテ
 我ニ対セシ敵ノ兵力ハ未タ詳カラスト雖モ總數方々約十三師至ナルベシ
 今ヤ敵ノ大部ハ未タ烟台以北ニ退却セザルモノ如ク其一部ハ迎水寺附近

二傳止ニテリ傳車場附近一倉庫及鐵道橋并ヒ太子河一架橋ハ敵ヲ
 燒第セリ我オ三才四軍ハ太子河右岸ニ傳止シ一部隊ヲ以テ木廠北方
 高地及鐵道橋附近ヲ占領スル等ナリ而シテ連隊百領直後オ軍ヲ皇英
 台臺大白一線以內太子河右岸ニオ軍ヲ高力埔邊所一線以西高
 力埔ヨツカレイニ一線以南ニオ四軍ヲ邊所潘家紆一線以東太子河
 右岸一地區ニ集合シ戦後一懸領ヲオサレシヨリ
 幸者以來一我軍ノ損害ニ就キテハ未タ正確ナル報告ニ接セズト云々各軍ヲ通シ
 テ始ニ三才ニ重スレ敵ノ損害ニ就キテハ未タ詳カニ云々
 敵ノ兵力ヲ奉テ半永久的ニ構築セシ數段ノ防禦線ニ對シ十日間ニ亘リ攻撃
 ヲ以テ遂ニ目的ヲ達シ且大ノ犧牲アルニモ拍ラズ志氣頗ル旺盛ナリ
 邊所城ノ周圍ニ構築セラレタル防禦陣地ハ嘗テ江木ヲ佐一報告シタル
 通り第一層堅牢一層ヲ増加セリ
 統司令部ハ明後七日邊所ニ移ルノ預定ナリ
 五、本朝九時三十分オ三軍參謀長ヨリ老一函報ナリ
 高力埔附近ニ在リシ敵ハ今朝北方ニ退却セガ如シ、軍八日下渡河ハ方
 法ヲ講シソナリ軍司令部ハ明六日午自邊所傳車場附近ニ移ル

第三軍參謀長 甲地知章 介

0301

通報

九月八日午前十時
松柳樹房

一、滿州軍總司令部ハ昨六日遼陽停車場ニ移轉スル旨總參謀長ヨリ通
報アリ、

二、昨七日前三時第三軍參謀長ヨリ敵主力ハ遼陽街道ヲ退却シ
其一部ハ烟台附近ニ在ル旨通報アリ、

三、同前午後四時第四軍參謀長ヨリ同軍司令部ハ七日遼
陽南方ノ東八里庄ニ移轉スル旨通報アリ、

四、昨日野戦砲兵第二旅團ヨリ竜眼北方ニ偵察將校ヲ派シ盤竜
山西砲台ニ危害ヲ與フル故ニ山口砲台ノ所在地ヲ偵察セシメタル結
果同砲台ハ全ク南面堡南方ニ移スレテ椅子山又ハ安子山ヨリスルヲ
下ノ報告アリ、

又同將校ノ報告ニ由ルニ南面堡内ニ約六門ノ機關砲アリ而テ此堡
墨三向ヒツ、在ル我々作業ヲ最モ防碍スルモノハ椅子山及ニ竜山砲
台ナリ其砲撃ニ糸ノ内ニ糸ハ空砲ナルカ如シ、

0302

五、第一師團ヨリ報告ノ要旨尤ノ如シ

其一、去六日一夜十二時敵兵約三隊並家園子ニ向テ襲撃シ来リシ
我之ヲ撃退セリ、

其二、六日午後六時三十分頃後順方面ヨリ松樹山西麓停車場附近野
砲ヲレキモノニ門ヲ或上ケ来リシモ其後ノ位置不明ナリ、

其三、同日谷如ニ砲撃(殊ニ千細以上ノ大口全砲)ヲ受ケタル結果下士卒
二十一名ノ死傷者アリ、

六、第九師團ヨリ去六日ノ出来事ニ関テ報告ノ要旨尤ノ如シ、

其一、夜十時十分ト十二時三十分頃ト於テ二回敵兵約六十名竜眼北方ノ
我作業隊ニ向ヒ来襲シ我之ヲ撃退セシモ之ガ為メ同夜ハ全ク其
作業ヲ所碍セラレタリ、

其二、午後五時頃ヨリ盤竜山東西砲台ハ激シキ砲撃ヲ受ケ之ガ為
メ工事ノ大部ヲ破壊セラレタリ、

其三、当日戦死下士卒七、負傷由田砲兵少佐(重傷)以下平四名アリ、

0303

七、第十一師團ヨリ報告ノ要旨在リ如シ

其一、東雞冠山東南砲台ノ備砲（從來二門）三門ニ増加シ又白銀山

北砲台前散兵壕南端角ニハハ口聖砲二門ヲ備附セリ、

其二、六日昼間我作業隊ハ二千条ノ砲撃ヲ受ケタリ

八、昨夜十時半參謀總長ヨリ當軍ニ軍真班一個配屬セシ同班ハ

去五日宇品ヲ出發セシ旨通報アリ、

九、本朝八時第九師團ヨリ尤ノ要旨ノ報告アリ、

其一、昨夜当方面ハ概テ静謐ナリ是レ我攻城砲兵ノ援助最モ商

切ナリ結果ト思為ス、竜眼北方ニ在テハ我攻路頭ニ在リ敵ノ地

電雷一個爆発セシモ我ニ損傷ナシ其起因目下偵察中、

其二、八里庄方面ニ在ツテハ同村西部ニ在リ敵ノ監視兵ヲ驅逐シテ此ニ

散兵壕ヲ築設セリ、

十、今朝參謀次長ヨリ遼東守備軍及韓國駐紮軍ノ編成ヲ令セラル昔

通報アリ、

第三軍參謀長 伊地知幸介

0304

訓示 九月七日午後三時
本柳村房



一頃日各隊ノ大行李又ハ銃剣ノ輸卒等駄馬又ハ輓馬(裸体ニ蓆ヲ置キ)

ニ兼用シテ往復スル者甚ク衆シ此事トモ惡解ヲ増シ徒勞ヲ與ヘ延テ

其保続上ニ大關係ヲ有ス各部団隊長ハ速ニ之ヲ嚴禁スベシ

二下士卒ノ敬礼著シク乱レ甚ク至テハ幸モ一物ヲモ損サセシテ與テ

注目ヲ為サス恣ニ瞻望シ彼是批評ヲ加フ者アリ平戰兩時敬礼ニ別アル

トナレ殊ニ兵馮倥偬ノ間ニ在ラ之ヲ善クスルハ其品位ヲ一増尚高ナラシムル

ノ感仰リ各部団隊長ハ十分之ヲ戒飾スルヲ要ス

三衛生上ノ事項ニ関シ別紙軍々醫部長ノ注意ヲ命布ス各部団隊長ハ

各自当面ノ情況ニ照シ成シ得ル限リ之ヲ実行スベシ

第三軍司令官野村乃木虎典

第三軍司令部

各隊長
各分隊長
各分隊長
各分隊長
各分隊長
各分隊長

通

報 九月八日午後一時
於 柳樹居



昨日總參謀長ヨリ電信濫用ノ弊昭乎タル形蹟アルヲ以テ之ヲ
柳歴スルトニ関シ左ノ通報アリ各部團隊ニ於テ其趣旨透徹
致標十分注意相成クシ

近來電信ノ使用不規則ニ流ルノ風アリ仮ハ私信ヲ濫用シ
発信系統ヲ誤解シ就中特別至急官報ヲ濫用スル等其
弊害少カラス宜シク一般ニ訓示シ至嚴ノ制裁ヲ加ヘ其弊
根ヲ洗除セラシメントテ要求ス

第三軍參謀長伴地知幸介

第三軍司令部

0306

明治三十七年九月九日

第三軍參謀長伊地知幸介

海軍陸隊官進級停年并減年令

昨日在ノ電報到達致候

司令官宛 九月八日 陸電

大臣

陸軍武官進級令第四條及陸軍豫備後備武官進級令第五條之依リ自今士官以下ノ進級停年ヲ其半ニ減スルコトニ定メラル

司令官宛 九月九日 電

大臣

今般陸軍以下ノ士官以下ノ進級停年ヲ半減スルコト

第三軍司令部

0307

東 右ハ士官ニテリ現在ノ擢權決定者書キタル
後於ニ陸軍武官進級取扱規則第十二条ニ依リ進
級ヲ稟申ス義ニ心得レ

軍參謀長宛 九月八日發電 人事局長

須永大佐ハ少將ニ進級步兵第廿七旅團長ニ是立大佐ハ
免本職第廿九師團參謀長ニ本日發令セラル

0308

通報
九月九日午後二時
松野樹房

一昨八時英米兩國ノ報告由北太陽滿西南約千番米標高即高地ニ係異々新築大砲
至砲二門八吋以上海軍砲ニシテ一門ハ砲塔ヲ有スルガ如ク他一門ハ露天ニシテハ胸
播ヲ有スルガ如ク備附シ我海軍砲ニ對シ午後六時頃始テ發火セシガ如シ

二第九師團ヨリ昨七日、東軍事ノ閉シ報告セシ要旨如シ

其、國境東眼北方、我軍、大進歩シ抗路頭ハ敵軍前ノ地際ヲ去リ約十五米ノ巨差ニ
達スル八里庄方面ヨリスル者ハ第二敵兵壕交通路ヲ穿闢スル至リ

其三、敵自友那團即ヲ利用シ之電山ヨリ東雞冠山ニ直上間ニ歩兵用掩堡ヲ播成セリ

其五、七日ヨリ八日ニ至ル間師團ノ損傷ハ戦死五、負傷十四ナリ

三、第一師團報告要旨如シ

其、後備步兵第十六隊ハ標高203高地對スル為ニ毎夜敵兵壕ヲ南方ニ穿進シツヤリ

其三、敵ノ多ク行動スル重橋以南ノ地区ニ於テ午前九時頃ト午後七時頃ト最トス妻介守備

兵ノ交代期ナリ

其三、三重橋ニ在ル煙突ヨリハ頃日揚煙ヲ見サレモ安子山東麓孔家屯ニ在ルハ昼夜共時
時淡白ノ煤煙ヲ吐ク、

其四、敵ハテ昼間其守備兵ヲ減少シ夜間之ヲ増加スルガ如シ、

其五、水師營南方ニ向テスル対壕作業ハ時々敵ノ防得ヲ蒙ルモ係ラズ着々進捗シ本
夜(九日)ハ其抗路頭鉄條網ノ所在地ニ達スル見込ナリ、

四、第十師團報告要旨(九)如シ、

其一、七日夜東麓冠山北砲台ニ向ヒ作業中將校一戰死シ兵卒五員傷セリ、

其二、敵ハ七日後零時三十分ヨリ八日朝マテ四百九十八發ノ砲彈ヲ發射セリ、

其三、対壕作業ハ着々進捗シツアリ則チ北砲台前ニ在リテ約三百米ノ距離ニ達セリ、

其四、昨日參謀總長ヨリ當軍ハ機關砲四門ヲ増加支給セラレ七時半ヨリ出發セシ旨

通報アリ

六、攻城砲兵司令部ヨリ敵狀ニ関シテ付テ報告セリ、

其一、竜山砲台ト盤竜山砲台ト中間ニ在ル砲台一西北突前前ニ敵兵壕ヲ進歩シ

其二、見砲台、東南田壁上ニ銃眼ヲ新設シ且同砲台南方控テ南北直ニ散兵壕ヲ掘開ス、
 其三、北平山、山頂ニ稍大ナル工事ヲスモト見エ昨日枕木様ノ木材數多運搬スヲ見又山頂
 六時々作業兵ノ頭部ヲ現ス而テ工事ハ日々幾分ノ増大スルヲ認ム
 其四、望台高地脚ヨリ望南山東向砲台ニ通スル交通路ハ掩体ヲ以テ全ク閉塞セリ、
 其五、東雞冠山々腹ノ散兵壕ニハ掩蓋ヲ構築シ其附近ニ築設材料ノ横アリ
 アルヲ見ル砲台ノ散兵壕モ亦同シ
 其六、望台東南方高地上ニ設ケル二個ノ散兵壕ノ中間ニ散兵作業ヲ為シヤルガ如ク
 ナレドモ一ノ土体ヲモ現ハサス或ハ向接砲台ノ築設ナラシ大孤山監視哨ノ報告ニ依ルハ
 中日至平射砲二門ヲ備ヘタリト云フ

第三軍參謀長 伊地知幸介

第三軍司令部

三軍通牒外

明治三十七年九月六日

第三軍參謀長 伊地知幸介

海軍陸戰隊長 黒井橋太郎 殿

從軍外國武官ニ當軍砲兵諸陣地及輕氣球隊並諸縦列視察許可
 相成候ニ付該武官視察ノ為ノ罷越候節ハ差支ナキ限リ參觀ノ
 便ヲ與ヘラレ度最モ該武官ニ接伴掛地田步兵大佐若リハ島内
 砲兵大尉必ス附添ヒ出場スルヤ答ニ有之尚陣地視察就テハ之ヲ為
 ノ敵ノ注意ヲ惹キ我陣地ヲ発見セラレ、等ノ事無之様接伴掛將校
 ニ充分注意致置候間右御承知相成度此既為念及通牒候也

第三軍司令部

0312

46

通報

九月十日午後一時
於柳樹房

一昨夜第三軍參謀長ヨリ通報ナリ曰ク前面ノ情况變化ナシ

二攻城砲兵司令官報告ノ要旨尤ノ如シ

其東雜冠山北砲台上支那回國郭トノ間ニ白布ヲ敷置シタル如キ線ヲ認ム其
何タルヲ確認シ難ト云々或ハ深キ反途路ヲ掘示シ白布ヲ以テ之ヲ蓋フ然ルハ
其ニ望台附近ノ敵壘ヲ縱射スル目的ヲ以テ礮盤藩南方高地ニ三冊海軍砲二門
ヲ既置ス

三第九師團長報告ノ要旨尤ノ如シ

其八里庄方面ヨリスル抗路ハ昨夜ヨリ竜眼北方角面堡ヲ離ル約三百五十米塙
如ニ第三敵兵塙ヲ掘示セリ

其二盤竜山東西砲台ニ向テスル敵砲撃ハ稍々緩慢ナリ我損傷モ亦減テセリ

其三師團司令部ハ五家房北方谷地中前位置ノ東方約七百米ノ処ニ昨夕ヨリ移転セリ

四第一師團長報告ノ要旨尤ノ如シ

其一標高203高地ニ対シテ後備歩兵第六隊隊ハ八日夜困難ナル地ニ抗路約
二十五米ヲ掘示セリ

其二寺見藩附近ニ在ル敵ハ八日夜軍樂ヲ奏シ稍々喧噪シテ爲セリ

其三九日午前二時二十分頃敵兵五六十名嶺順街道ヲ前進シ来リ我射撃ニ逢
テ四三時三十分頃逐次退却セリ

其四二竜山東方山地ニ在ル新道ヲ往復スル敵兵ハ朝夕於テ最モ多シ

其五第一師團長報告ノ要旨尤ノ如シ

其六第一師團長報告ノ要旨尤ノ如シ

其七第一師團長報告ノ要旨尤ノ如シ

其八第一師團長報告ノ要旨尤ノ如シ

其九第一師團長報告ノ要旨尤ノ如シ

其十第一師團長報告ノ要旨尤ノ如シ

其一、敵ハ塩廠南方高地上ニ自來ヲ率テ始メテ、東雞冠山砲台下、向東南砲台
トノ間ニモ壕ノ塙ヲシテ勉メテリ、

其二、東雞冠山北砲台ト支那曰田新ノ間ニ在ルモノヲキ築物ハ大孤山康望哨
ノ觀察ニ依ルハ其トシニ非ズシテ新塙ヲ築キ土ハカシ

其三、東雞冠山砲台及西北砲台ニ向テスル對壕係業ハ敵ノ防障ヲ受ケルト比較
的多キニモ拍ラズ着々進捗シテアリ

六、昨日參謀次長ヨリ九ノ通報アリ

宇田少佐ノ報告ニ依ルハ其頃ハ山ノ底住スル多敷支那人中ハ我旅順攻圍
軍ノ内訶ヲ綿密ニ復察シテ之ヲ芝罘ニ在ル露軍領事及ハ露人希臘人

等ニ密報スルモノアリテ受報者ハ之ヲ無線電信又ハ密候ヲ以テ旅順ニ
通信シツルカ也レト(本件ニ関シ各部隊長ハ部下殊ニ後方ニ在ル隊列其他ハ

テ諸部隊ニ注意シ若シ恠キ舉動ヲ有ス者アラハ速宜處分ヲ為スベシ)

七、後備步兵第四旅團(第三十八隊欠)ハ鳳凰山東南方曰露營地附近ニ駐宿

八、朝十日前中長岑子附近ニ於テ四十七密達射砲ハ討撃射擊ヲ施行ス

第一軍參謀長 伊地知 幸介

0314